



私たちは 若きITエンジニアを応援しています

A.JITEP

NPO法人 ITジュニア育成交渉協会
Association for Junior IT Engineer Program

ご挨拶

プログラミング教育は小・中学校で必修化され、これを機に、私どもは「BCN ITジュニア賞」に「BCN ITジュニアU-16賞」を新設し、プログラミング学習者のすそ野を広げる活動を始めました。全国でプログラミングの楽しさを覚えた子どもたちが「BCN ITジュニア賞」受賞者の高い技術に触れ、同じ舞台上で表彰されることで、子どもたちには次の目標が見えていくことでしょう。こうした活動を通じて、ボランティアの先生、地元で応援してくれるご家族や友達、企業の皆さんが、大きな声援を子どもたちに送っていただける舞台をつくってまいります。

特定非営利活動法人（NPO）ITジュニア育成交流協会は、ITエンジニアを目指す児童・青少年が意欲をもち目標に向かって誇らしく活動できるよう、関連する専門家や教育機関、IT企業と連携しながら、彼らに夢と希望を与える各種の支援活動を行っています。活力ある社会は、IT技術のさらなる進化とその健全な活用なしには考えられません。これを支える優秀なITジュニアの育成は、社会発展の源泉ともいえます。

当協会は、2005年の設立以来、青少年を対象とするプログラミングコンテストの支援を中心に活動しております。

ITエンジニアを目指す優秀な若者たちをIT業界のトップが集う場で表彰し、IT業界と教育界を結びつける「BCN ITジュニア賞」については、設立当初からその運営を担ってきました。営利を目的としないNPO法人の利点を生かし、教育界や行政の信頼を得て、教育関係者とIT企業の交流の場を運営しています。

これらの活動は、協賛いただいた法人会員や個人の方々のご支援で成り立っております。今後とも、活力ある明日の社会をつくるために、ITの世界で教育界と企業の架け橋として活動してまいります。皆さまのご理解とご支援、ご協力を心より お願い申し上げます。



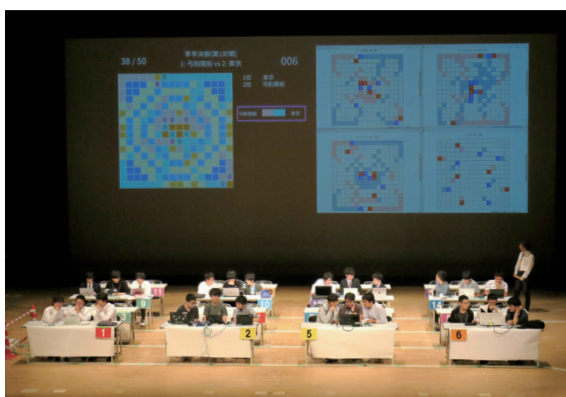
2021年4月1日

NPO法人ITジュニア育成交流協会 理事長 奥田 喜久男

事業のご案内



プログラミングコンテスト支援 ITジュニアたちが日頃の練習の成果を競う大会を支援します



全国高等専門学校プログラミングコンテスト

主催：一般社団法人 全国高等専門学校連合会

競技・課題・自由の3部門でプログラミング作品の独創性や実用性、完成度を競う。課題・自由部門は、展示に加えプレゼンテーションやデモンストレーション審査がある。



U-22プログラミング・コンテスト

主催：U-22プログラミング・コンテスト実行委員会

1980年から経済産業省が主催してきた「U-20プログラミング・コンテスト」が2014年に民間へ移行、U-22プログラミング・コンテスト実行委員会は、一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）に事務局を置く。応募資格が22歳以下に広がり、さまざまなジャンルのソフトウェア作品が集まる。



全国高校生
プログラミングコンテスト

主催：全国情報技術教育研究会

主に工業高等学校の情報技術系学科の生徒たちが参加する伝統あるコンテスト。近年はネットワーク対戦競技「CHaser」で勝負を競っている。



高校生ものづくりコンテスト全国大会
(電子回路組立部門)

主催：公益社団法人 全国工業高等学校長協会

ものづくりを学ぶ全国の高校生が学習成果の発表の場として技術・技能を競う。電子回路組立部門は、設計仕様に沿った入力回路を設計・製作し、規定の動作をおこなう制御プログラムを競技時間内に完成させる。



若年者ものづくり競技大会
(電子回路組立部門)

主催：中央職業能力開発協会

職業能力開発施設、工業高等学校等において技能を習得中の20歳以下の若年者が技能レベルを競う競技大会。電子回路組立部門では、決められた時間内に基板回路を組み立て、基板を制御するプログラムを制作する。

BCN ITジュニア賞の運営

IT業界のトップたちの前で
ITジュニアを称えます

株式会社BCNと共催するBCN ITジュニア賞の運営を担っています。ITコンテスト支援を通じて受賞者の推薦、学校との調整、当日のコーディネート、旅費支給などを行っています。



U-16プロコンの全国展開活動

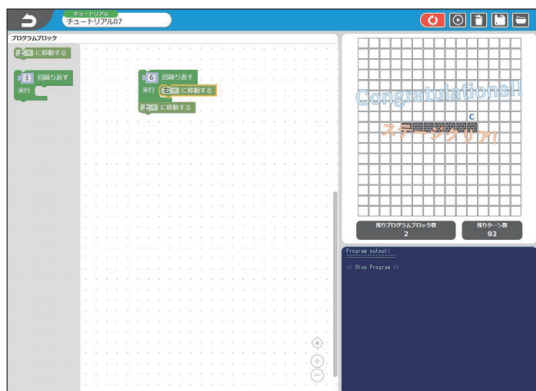
先輩が後輩を指導しながらともに
成長します

小・中学生にプログラミングの楽しさを感じてもらおうU-16プログラミングコンテスト。北海道旭川市で始まったこの大会は、プログラミングを学ぶ大学・高専・高校生が地域の子どもたちを指導することで共に成長するすばらしいスキームで運営されています。子どもたちと地域の未来をつくるU-16プロコンを全国の志ある方々に紹介し、開催を支援しています。



プログラミング教育支援

いつでも、どこでも学べます



NPOのホームページで、簡単にプログラミングを学べるコンテンツを公開しています。(準備中)

リユースPC寄贈幹旋

ITの技能を高める部活動を応援します



BCN ITジュニア賞受賞校やU-16プロコン運営で地域貢献している部活動に、企業から提供されるリユース(中古)PCの寄贈幹旋をしています。「自由に使うことができるPC」を寄贈することで、プログラミング技術の更なる向上を目指すITエンジニアの育成を支援しています。

協賛企業

(五十音順・敬称略 2021年7月現在)

IT業界を代表する企業の皆さまにご賛同いただき、協賛いただいています

I-O DATA

株式会社アイ・オー・データ機器

I-SITE

株式会社アイサイト

AMIYA

株式会社網屋

interCOM®

株式会社インターコム

MCJ

株式会社MCJ

ELECOM
LIFESTYLE INNOVATION

エレコム株式会社

OBC
ONE BUSINESS CONSULTANTS CO.LTD

株式会社オービックビジネスコンサルタント

Q&A

あなたをささえる わたしのこえて

キューアンドエー株式会社

QualitySoft

クオリティソフト株式会社

CRYPTON

クリプトン・フューチャー・メディア株式会社

SAKURA
internet

さくらインターネット株式会社

THIRDWAVE

株式会社サードウェーブ

SANWA
SUPPLY

サンワサプライ株式会社

CCW
Computer
Communication
of the World

株式会社シー・シー・ダブル

SEED&A

株式会社シーディア

JBCC
holdings

JBCCホールディングス株式会社

Sky

Sky株式会社

salesforce

株式会社セールスフォース・ドットコム

DATATANG

データ・タンク株式会社

NIKKO 日興通信株式会社

日興通信株式会社

AMD

日本AMD株式会社

NJC
making IT the best key

日本事務器株式会社

BUFFALO
つなぐ技術で、あなたに喜びを

株式会社バッファロー

PFU
a Fujitsu company

株式会社PFU

Pro-Ship

株式会社プロシップ

弥生

弥生株式会社

BCN

株式会社BCN

ご協賛いただける企業・個人を募集しています

明日のIT業界を担う優秀な人材を育成する活動をご支援ください。

法人会員 (賛助会員)

法人の目的に賛同し、協賛するために入会した団体。ウェブサイトの協賛会員欄に団体名とバナー広告を掲載できます。
年会費 一口30万円、一口以上

個人会員 (賛助会員)

法人の目的に賛同し、協賛するために入会した個人。ウェブサイトの協賛会員欄にお名前を掲載できます。
年会費 一口1万円、一口以上

協会概要

名 称 特定非営利活動法人ITジュニア育成交流協会

住 所 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-12-5 内山ビル

連絡先 TEL: 03-3254-7818
✉ info@ajitep.org

設 立 2005年12月

理事長 奥田 喜久男

理 事 濱野 真 (事務局長)

大原 昌彦、道越 一郎、石井 健太郎、但野 智昭、下村 幸広、西谷 豊、市川 正夫、土屋 裕

監 事 奥田 芳恵

正会員 23名
(個人)

活動の最新情報はウェブサイト「ITジュニアの広場」で発信しています

<https://www.ajitep.org/>



U-16プログラミングコンテスト

令和3年11月

特定非営利活動法人
ITジュニア育成交流協会

<https://www.ajitep.org/>

プログラミングが子どもたちの未来をつくる

自分で考え、それをかたちにしていく論理的思考力や創造性、
問題解決能力、行動力を身につけることができる

AI、ロボティクス、ビッグデータ、IoTなど、IT利活用の高度化・多様化が進むなか、あらゆる職業でプログラミングスキル、思考力が活用できる

IT需要が拡大する一方、国内労働人口の減少によって人材供給力が低下し、IT人材不足が今後より一層深刻化する



U-16プロコンのはじまり

原型＝U-16プログラミングコンテスト 旭川大会(2011～)

- 委員会メンバーは「プログラミングの世界に子どもたちの未来をつくる」志をもつ
- プログラミングを学ぶ高校生や高専生が、講習会で参加者(中・高生)を指導
教えることによって自らも成長する
- 基本16歳以下の中学生・高校生が対象。高校2年生になると指導側に
- 競技部門は対戦型ゲームプラットフォーム「CHaser旭川版」で勝敗を競う
- 実行委員会は地域のITコミュニティを核に構成。

高校や中学の教諭、高専教授、IT企業経営者、個人などが協力

協賛・後援で企業や行政が支援



U-16プロコンの特長

1. 地域の大人たちが、地域の未来のために
地域の子どもたちのプログラミング教育を支援する
2. 身近な大人・お兄さん・お姉さんから
プログラミングの楽しさを学ぶ
3. 学ぶ、教える、支援する、人材循環の輪を
つくり地域の活性化に寄与する



U-16プロコンの開催パターン

～ 地域それぞれの事情に合わせて開催 ～

長野……商工会議所会頭が旭川大会を見学。地元に戻り、年初に年内開催を宣言。

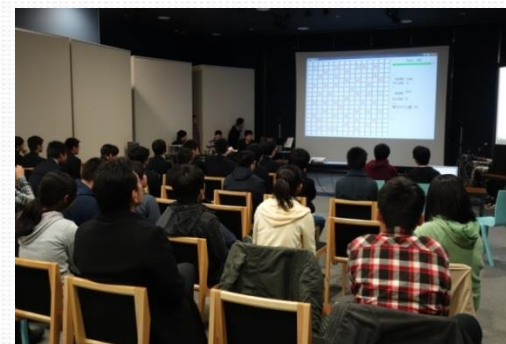
市長・市商工観光課、教育委員会、大学、高専、高校を回って協力を要請。

商工会議所ICT部会を中心に実行委員会を結成。大会は商工フェアのなかで開催。

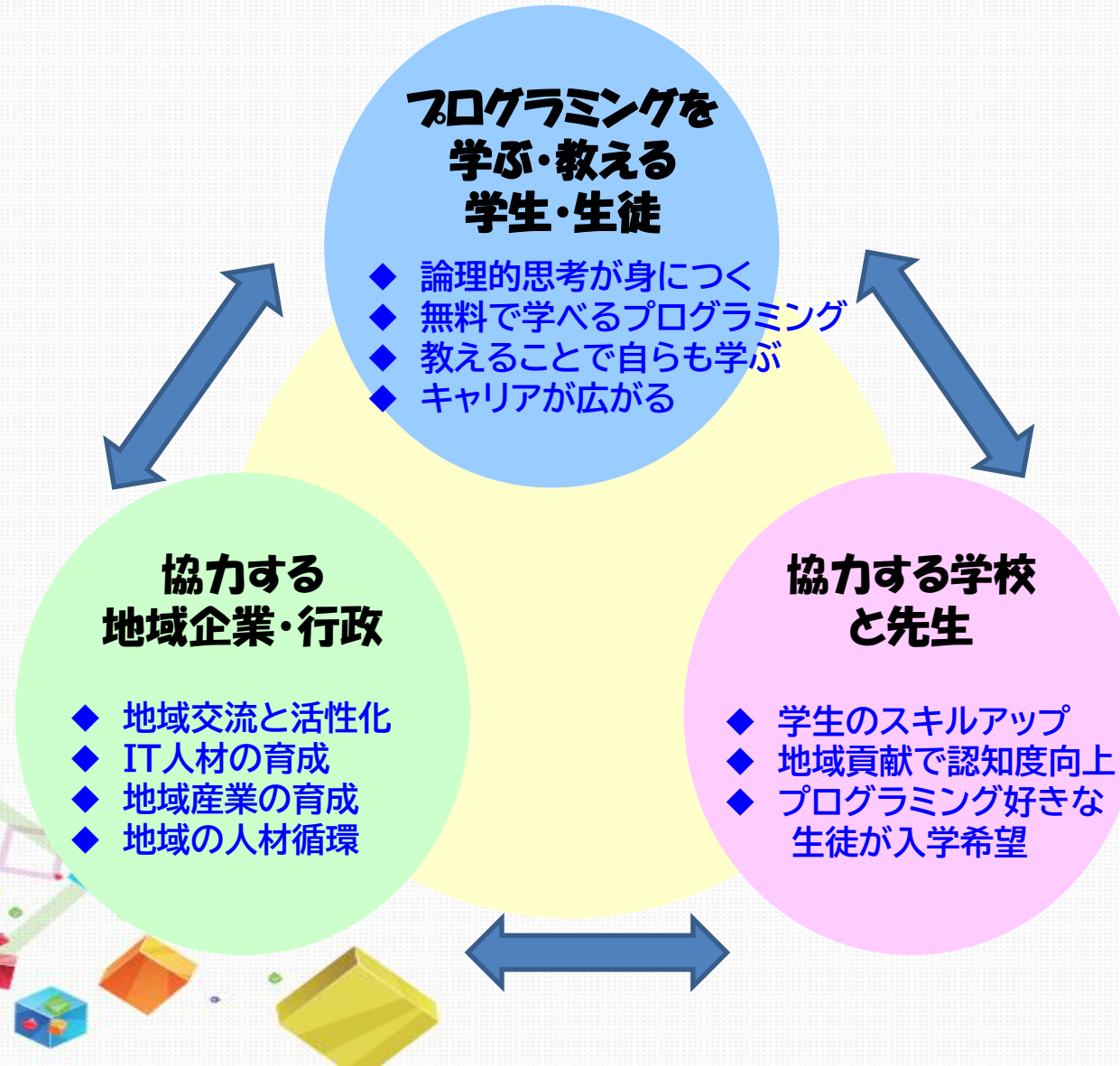
愛媛……高校プロコンの強豪である松山工業高校メカトロ部が中心になって開催。

事前講習会はポリテクセンター愛媛のイベントを活用。地元SIer協賛、行政の後援がついて規模を拡大、名称を松山大会から愛媛大会へ変更。

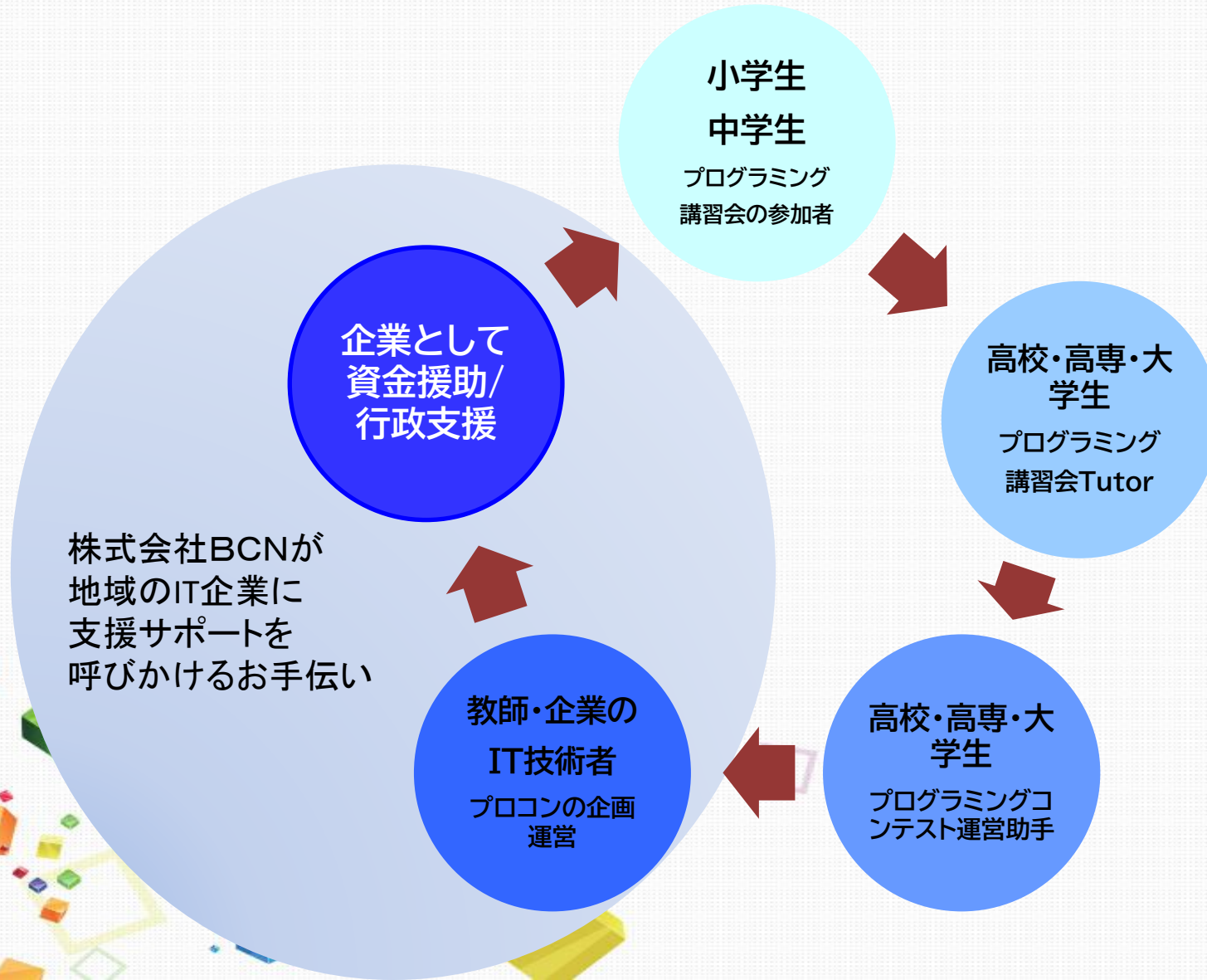
和歌山…田辺工業高校の校長が実施を決定、電気電子科の教諭陣が市内の中学校4校に声かけ、田辺工業高校の地域連携講座としてプログラミング講習会を実施。



U-16プロコン開催効果



U-16プロコンの人材循環



U-16プロコンの開催運営

U-16プログラミングコンテスト実行委員会

- プログラミング教育担当の教師
- 支援企業の技術者

- 後援する行政の担当者
- 支援企業

指導

Tutor: 高校/高専生(2年以上)・大学の学生

**Tutor
養成講座**

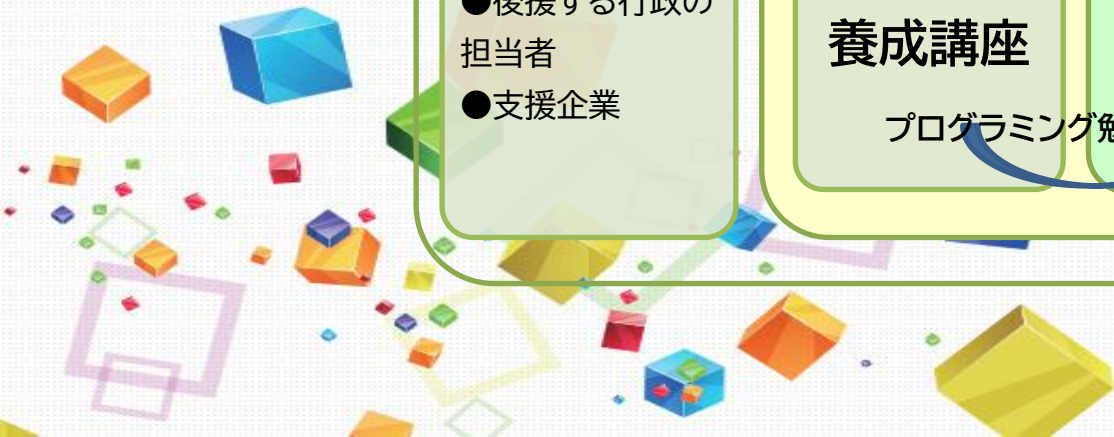
プログラミング勉強会

プログラミングコンテスト参加者

小学生

中学生

高校/高専
1年生



『BCN ITジュニア賞』にご招待

各都道府県で代表選手を1名決めていただき、毎年1月東京で開催する『BCN ITジュニア賞』にて表彰。

BCN ITジュニア賞はプログラミングを学ぶ生徒、学生の交流の場

BCN ITジュニア賞 & U-16賞の受賞者同士の交流で
受けた刺激、大人から受けたエールの喜びを
各地に持ち帰り、それは更なる
ステップへのエネルギーとなる



もっとプログラ
ミングを学
びたくなりま
した！

高専プロコンで
優勝した
お兄さんからア
ドバイスもらい
ました！

BCN ITジュニア賞

BCN ITジュニアU-16賞

U-16プログラミングコン
テストに参加する
小・中学生

ITEP
Junior IT Engineer Program

U-16プロコンの広がり

～ BCN ITジュニア U-16賞で全国8大会の優勝者を表彰2020/1/24 ～

北海道



左から妻沼翔寿さん(北海道大会優勝)
日本AMD株式会社 林田裕代表取締役

愛媛県



左から山田実和さん(愛媛大会優勝)
日本事務器株式会社 黒崎秀二執行役員

三重県



左から井村風海大さん(三重大会最優秀賞)
株式会社バッファロー 渡邊泰治常務

長野県



左から塚田晃仁さん(長野大会優勝)
株式会社PFU 広報戦略室 松本秀樹室長

山梨県



左から吉川栞さん(山梨大会優勝)
株式会社シー・シー・ダブル 金成葉子社長

愛知県



左から佐藤還太さん(愛知大会最優秀賞)
株式会社Project White 後藤賢志社長

福岡県



左から高橋直生さん(福岡大会最優秀賞)
弥生株式会社 岡本浩一郎社長

和歌山県



竹田悠夏さん(和歌山大会優勝) 写真中央

U-16プロコンの広がり

●既存大会

北海道	旭川市 釧路市 帯広市 札幌市 函館市
東京都	八王子市
新潟県	上越市
山梨県	甲府市
長野県	長野市
愛知県	豊田市
三重県	鳥羽市・伊勢市
和歌山県	田辺市
山口県	宇部市
徳島県	阿南市
愛媛県	松山市
福岡県	久留米市

●開催準備中

岐阜県岐阜市・飛騨市／千葉県南房総市／沖縄県那覇市／
富山県高岡市

大会開催
開催準備地域





NPO法人 ITジュニア育成交流協会

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-12-5 内山ビル

Tel.03-3254-7818 Fax.03-3254-7802

E-mail : info@ajitep.or.jp

ご静聴ありがとうございました

